

代謝物質解析する 新製品開発、発売

鶴岡のHMTなど

鶴岡市のバイオベンチャー「ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ」(HMT・菅野隆二社長)とライフサイエンス研究と化学分析のアジレント・テクノロジー(東京、海老原稔社長)は、メタボローム(代謝物質)の測定

発した商品。大々的に全国に売り込み、山形の名産品をPRしていくとあいさつした後、マウスをクリックし支店ホームページにアクセスした。ミスさくらんぼの太田奈

から解析までを行う新製品「Agilent-HMT CE-TOFMSメタボロームソリューションシステム」を共同開発し、十六日、発売した。

これまでのシステムを進化させ、四ヶ所で測定。測定時のデータポイント数が四倍に増え、質量精度などが向上、代謝物質の定量の信頼性を高めた。従来の三モードか

いない人でもネットから預金を申し込めるため、全国にアピールできるのが最大の特徴。専用定期は「んくまい山形定期預金」として扱いを始めた。三百万円を一口として、

ら陽イオン、陰イオンの二モードで測定可能になった。測定する物質を入れるガラス製チューブの「カラム」をモードごとに交換する必要がなくなつたほか、使用する試薬も七種類から四種類にし、測定にかかる時間を大幅に短縮した。

同システムは、慶応大先端生命科学研究所(富田勝所長)が組織し、解析用ソフトウェアの使用権などが得られる「メタボロームコンソーシアム」への参加費を含め、一セツト五千二百万円。三年間で三十セツトの販売を見込んで